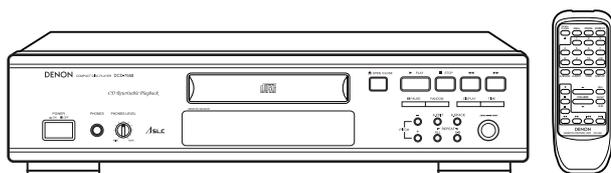
DENON

取扱説明書

DCD-755Ⅱ

COMPACT DISC PLAYER

コンパクト ディスク プレーヤー

安全にお使いいただくために―必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

目　次

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警 告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグをコンセント
から抜け

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近づけない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない
特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

指を挟まれないよう注意

レーザー光源をのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は
極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンをご使用になるときは
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■置き場所について

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

⚠ 注 意 つづき

■置き場所について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は
安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうとより効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■ 結露後の処置は

◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1〜2時間で使用できるようになります。
◎ディスクに露がついている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

設置の際のご注意

■ 本機の上にテレビ（小型テレビを含む）や置きものなどをのせないでください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、しま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

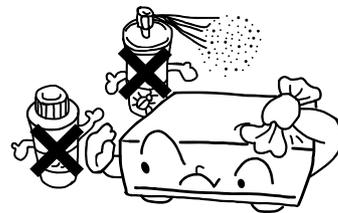
FMやAM放送を受信している場合

■ FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切っておいてください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。

使わないときは

■ ふだん使わないとき

◎必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 移動させるとき

◎衝撃を与えないでください。

◎必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット

◎ 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎ 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎ 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎ 窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎ お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

3 本機の特長

1．リアル20ビットΛS.L.Cの採用
PCM再生系における音質劣化の主因であるゼロクロスでの歪みを原理的にゼロにする回路『ΛS.L.C』（ラムダスーパーリニアコンバーター）を採用しました。分解能の優れたリアル20ビットD/Aコンバーターとの組み合わせにより、特に小音量時の音楽再現能力を高めました。

2．高性能デジタルフィルター搭載
L・Rチャンネル独立のD/Aコンバーターと8倍オーバーサンプリングの高精度なデジタルフィルターを使用することにより、アナログフィルターの特長を生かし、立ち上がりの良い、クリアーな再生を可能にしました。

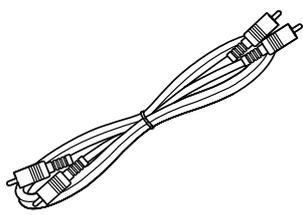
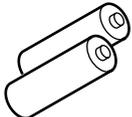
3．デジタルアウトは光出力装備
コンパクトディスクの情報をデジタル出力。
外部のデジタルプロセッサー、またはD/Aユニットで音楽再生することを可能にしました。

4．ピッチコントロール機能
CDを再生中に、再生速度を－12%～＋12%の範囲で可変することができます。

5．CD-RWディスクの再生に対応
ファイナライズ処理をおこなったCD-Rディスク、CD-RWディスクを再生することができます。

4 付属品について

★ 本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

ACコード ……………………1本	リモコン（RC-266） ………1個	ピンプラグコード……………1本
単3形乾電池 …………………2本	取扱説明書（本書） ……………………………………………1冊 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表…………………………1枚 保証書（梱包箱に貼り付けられています）	

5 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。詳しくは、保証書をご覧ください。
※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

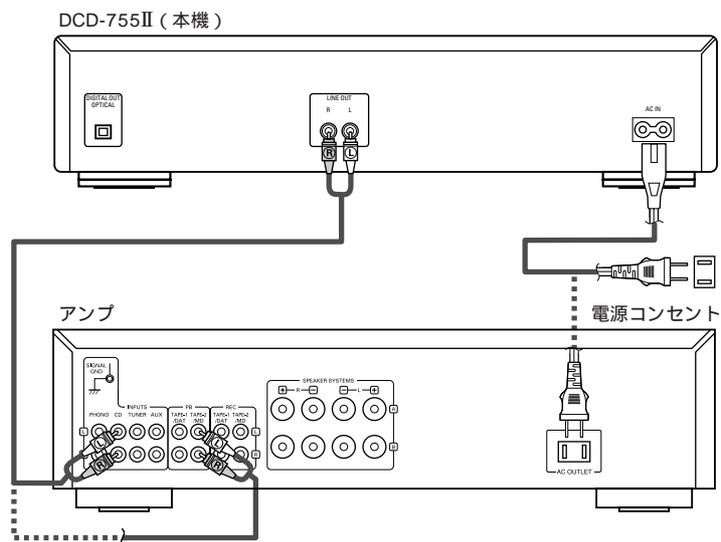
3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

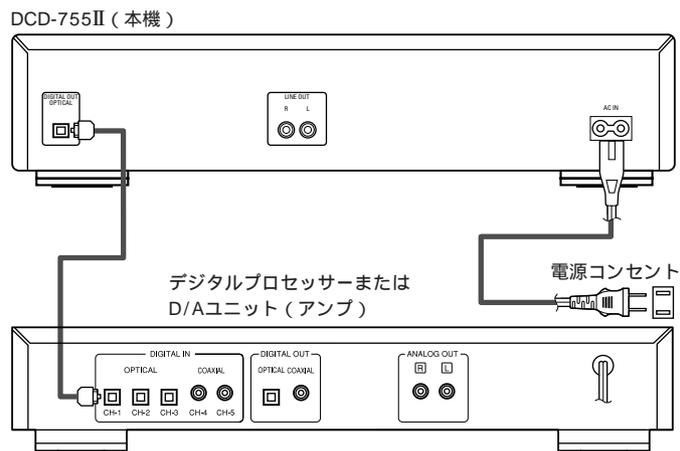
4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※ 当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

6 接続のしかた

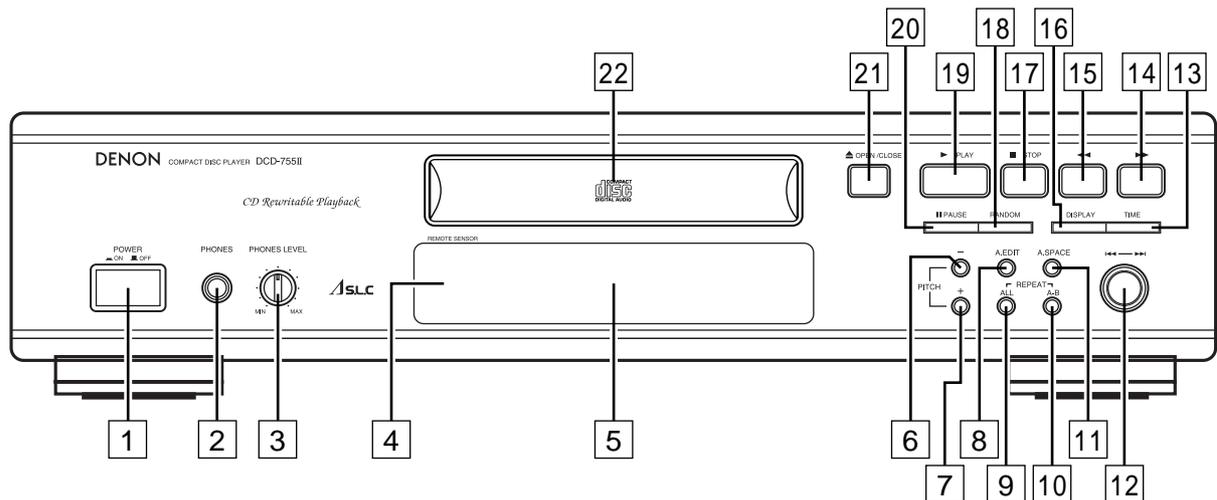
(1) 出力端子(LINE OUT)の接続

付属のピンプラグコードで、本機の出力端子(LINE OUT)の左(L)・右(R)とアンプの入力端子(CDかAUX、またはTAPE PLAY)の左(L)・右(R)を接続します。

(2) デジタル出力端子(OPTICAL)の接続

市販の光ファイバーコード(EIAJ規格品)で、本機のデジタル出力端子(OPTICAL)とデジタルプロセッサー、またはD/Aユニットの入力端子を接続します。
端子にはキャップがついていますので、このキャップを外して、コードをロックするまで、しっかり差し込んでください。

ご注意

- コードの接続や取り外しをおこなうときは、各機器の電源を切ってください。
- コードは奥までしっかり差し込んでください。
- コードの左(L)・右(R)と各機器の左(L)・右(R)を確かめてから、正しく接続してください。

7 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル

1 電源ボタン
- 押して『ON』にすると電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

2 ヘッドホンジャック（PHONES）
- 別売りのヘッドホンでお楽しみいただくときに使用します。

3 音量調節つまみ（PHONES LEVEL）
- ヘッドホンの出力レベル（音量）を調節するときに使用します。

4 リモコン受光部（REMOTE SENSOR）
- リモコンユニット（RC-266）をこの受光部に向けて操作してください。

5 ディスプレイ
- 詳細は11ページをご覧ください。

6 ピッチマイナスボタン（PITCH −）
- 演奏中の速度を遅くするときに押します。（22ページ参照）

7 ピッチプラスボタン（PITCH ＋）
- 演奏中の速度を速くするときに押します。（22ページ参照）

8 オートエディットボタン（A.EDIT）
- 自動編集をするときに押します。（21ページ参照）

9 全曲リピートボタン（REPEAT ALL）
- 全曲をくり返して聞くときに押します。（20ページ参照）

10 A-B間リピートボタン（A-B）
- 任意の2点区間をくり返し演奏するときに押します。（20ページ参照）

11 オートスペースボタン（A.SPACE）
- 曲と曲の間に4秒間の無音部を挿入するときに押します。（20ページ参照）

12 ジョグダイヤル（I◀◀-▶▶I）
- 曲の頭出しをするときに使用します。（17ページ参照）

13 タイムモードボタン（TIME）
- 演奏中または一時停止中に、ディスプレイのTIME表示を演奏曲の経過時間・残り全曲の残り時間表示に切り替えます。
- 1曲の残り時間の表示は、ディスクの1曲目から20曲目までに限られます。

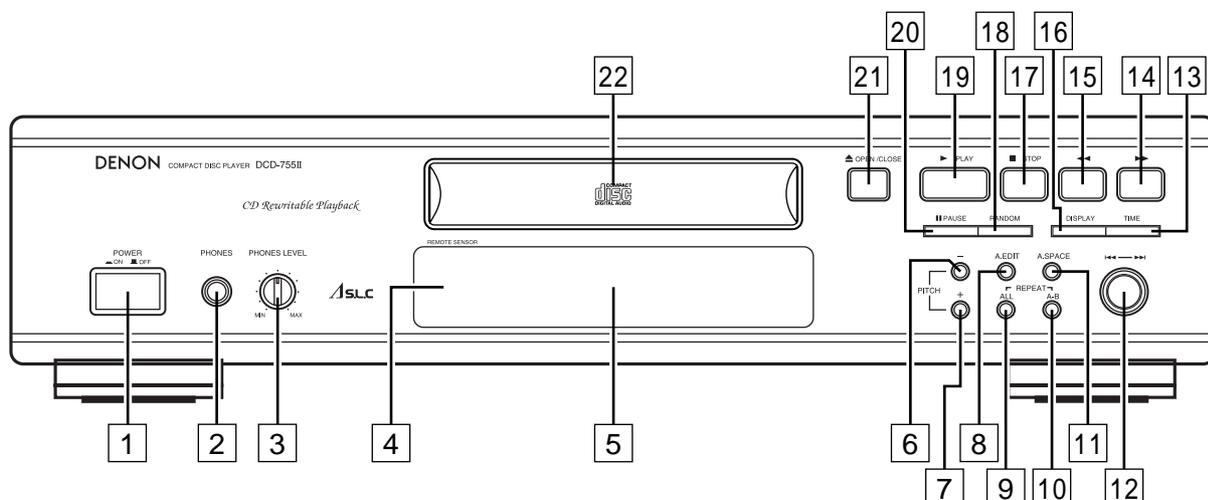
14 マニュアルサーチ・フォワードボタン（▶▶）
- 演奏を早送りするときに押します。（18ページ参照）

15 マニュアルサーチ・リバースボタン（◀◀）
- 演奏を早戻しするときに押します。（18ページ参照）

16 ディスプレイボタン（DISPLAY）
- 表示の明るさを変えるときに押します。
- 1回押すと、約2/3の明るさになります。
- もう一度押すと、約1/3の明るさになります。
- さらにもう一度押すと、演奏中はすべての表示が消え、演奏中以外はTRACK No.のみ表示します。
- 消灯時にこのボタンを押すと、通常の明るさに戻ります。

17 ストップボタン（■ STOP）
- 演奏を停止するときに押します。

（次ページへつづく）

各部の名前とはたらき（つづき）

18 ランダムボタン（RANDOM）

- ランダム再生をおこなうときに押します。（21ページ参照）

19 プレイボタン（▶ PLAY）

- ディスクを演奏するときに押します。

20 ポーズボタン（II PAUSE）

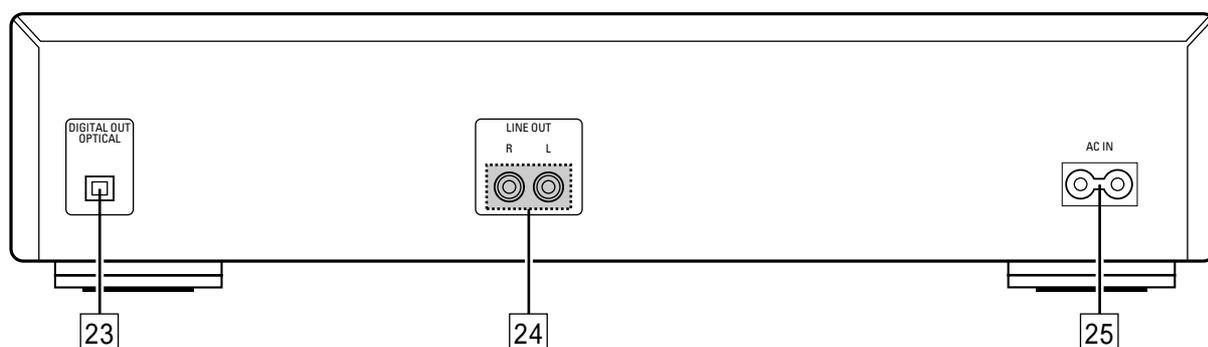
- 演奏を一時停止するときに押します。（17ページ参照）

21 ディスクホルダー開閉ボタン（⏏ OPEN/CLOSE）

- ディスクホルダーを開閉するときに押します。

22 ディスクホルダー

- ディスクを装着するところです。
- 21ディスクホルダー開閉ボタンを押すと、開閉します。
- 20ポーズボタン、19プレイボタンを押しても閉じます。

（2）リアパネル

23 デジタル出力端子（OPTICAL）

- デジタルデータを光で出力します。

24 出力端子（LINE OUT）

- アンプの入力端子に接続してください。（『接続のしかた』（8ページ）を参照してください。）

25 AC入力端子（AC IN）

- 付属のACコードを接続してください。

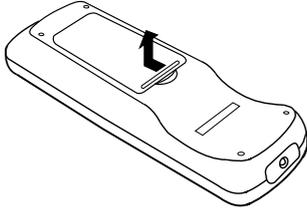
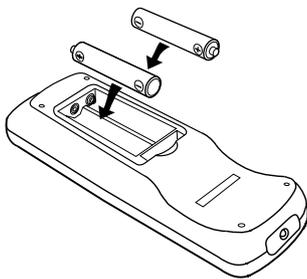
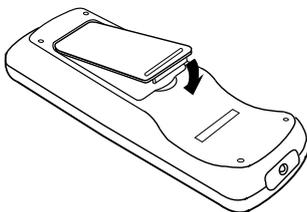
各部の名前とはたらき（つづき）

(3) ディスプレイ

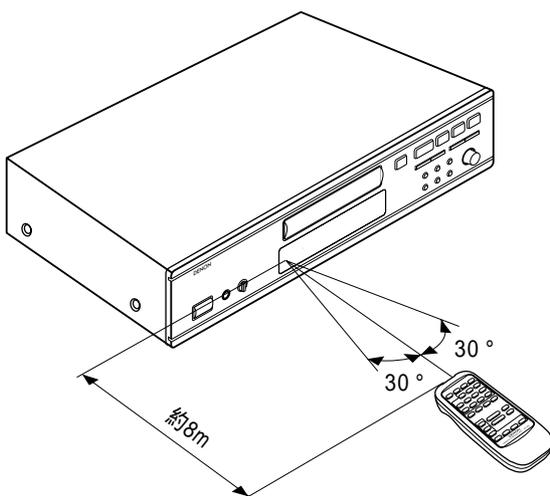
8 リモコンについて

★付属のリモコン（RC-266）を使うと、離れたところからCDプレーヤーをコントロールすることができます。

(1）乾電池の入れかた

① リモコンの裏ぶたをはずしてください。

② 単3形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③ 裏ぶたを元どおりにしてください。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をお使いください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、プラス側、マイナス側を合わせて正しく入れてください。
- 破損、液漏れのおそれがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 乾電池はショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 乾電池を交換するときはあらかじめ交換用の乾電池を用意し、できるだけ速やかに交換してください。

(2）リモコンの使いかた

- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- 直線距離では約8m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

リモコンについて（つづき）

(3) リモコンボタンの名前とはたらき

★特に説明のないボタンは、本体のボタンと同じはたらきをします。

ディスクホルダー開閉ボタン（⏏ OPEN/CLOSE）

テンキーボタン（1～10）
ダイレクト選曲またはプログラム選曲をするときに押します。（17、19ページ参照）

オートスペースボタン（A.SPACE）
曲と曲の間に4秒間の無音部を挿入するときに押します。（20ページ参照）

オートエディットボタン（A.EDIT）
自動編集するをときに押します。（21ページ参照）

ボリウムボタン（VOLUME）
ヘッドホンの出力レベル（音量）およびLINE OUT端子の出力レベルを可変できます。「▲」を押すと大きくなり、「▼」を押すと小さくなります。

プレイボタン（▶ PLAY）

ポーズボタン（II PAUSE）

ストップボタン（■ STOP）

マニュアルサーチ・リバースボタン（◀◀）
演奏を早戻しするときに押します。（18ページ参照）

マニュアルサーチ・フォワードボタン（▶▶）
演奏を早送りするときに押します。（18ページ参照）

オートマチックサーチ・リバースボタン（I◀◀）

コールボタン（CALL）
プログラムした曲を確認するときに押します。

オートマチックサーチ・フォワードボタン（▶▶I）

A-B間リピートボタン（A-B）
任意の2点区間をくり返し演奏するときに押します。（20ページ参照）

プログラムボタン（PROG）
プログラム選曲をするときに押します。（19ページ参照）

ダイレクトボタン（DIRECT）
ダイレクト選曲をするときに押します。

＋10ボタン（＋10）
11以上の曲を選曲するときに押します。押し続けると連続的に動作します。（17、19ページ参照）

ディスプレイボタン（DISPLAY）
ディスプレイの明るさを変えるボタンです。
- 1回押すと通常より2/3の明るさ、もう一度押すと1/3の明るさ、さらに押すと消灯します。
- 消灯時このボタンを押すと、通常の明るさになります。
- 消灯時でも停止状態のときは、TRACK No.のみ点灯します。

タイムボタン（TIME）
- 演奏中または一時停止中に、TIME表示を演奏曲の経過時間・演奏曲の残り時間・残り全曲の残り時間に切り替えるときに押します。
（通常は演奏曲の経過時間を表示しています。）
- 1曲の残り時間の表示は、ディスクの1曲目から20曲目までに限られます。

リピートボタン（ALL）
全曲をくり返して聞くときに押します。（20ページ参照）

ご注意

- プログラム選曲をおこなうには、プログラムボタンを押してから、テンキーボタンおよび+10ボタンを押してください。（通常はダイレクトモードに設定されています。）
- ボリウムボタンを操作すると、約2秒間ディスプレイのTIME表示部にレベルを表示します。0が最大、－12が最小で13ステップあり、1ステップ約1.5dB変化します。電源を切ると設定したレベルは解除され、最大レベル（0）に再設定されます。

9 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

本機で演奏できるディスクは、右のマークがついているものです。

但し、ハート型や八角形など、特殊形状のCDは演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

CD-R/RWディスクについて

CD-R/RWディスクは傷や汚れ、および記録状態や記録機器の特性により演奏できない場合があります。また、ファイナライズされていないディスクは演奏できません。

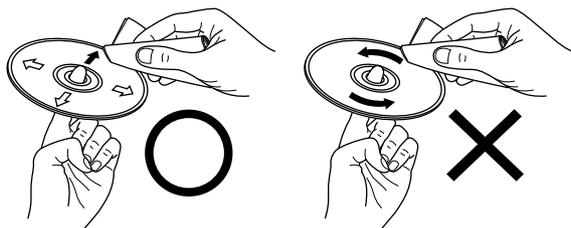
ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などをつけないようにしてください。

ディスクのお手入れのしかた

■ディスクに指紋や汚れが付いたときは、ディスクの信号には影響しませんが、音質が低下したり、音が途切れることがありますので汚れを拭き取ってからご使用ください。

■拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽くふく。

円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどをつけないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷側）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 演奏後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気・ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクをセットする際のご注意

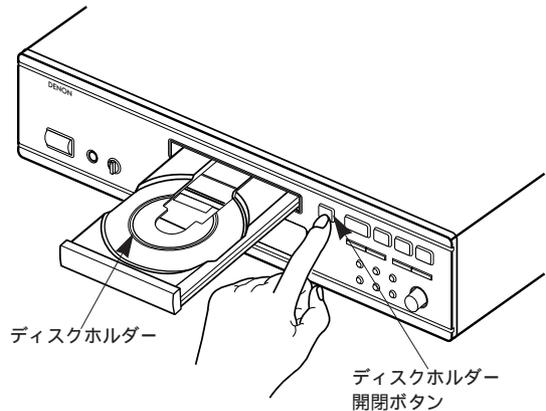
- ディスクは1枚だけセットしてください。2枚以上重ねてセットすると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせてセットしてください。正しくセットされないとディスクが脱落し、ディスクホルダーが開かなくなることがあります。
- ディスクホルダーが引き込まれるときに指を挟まないように注意してください。
- ディスク以外のものをディスクホルダーに載せないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

10 ディスクホルダーの開閉とディスクの入れかた

(1) ディスクホルダーの開閉

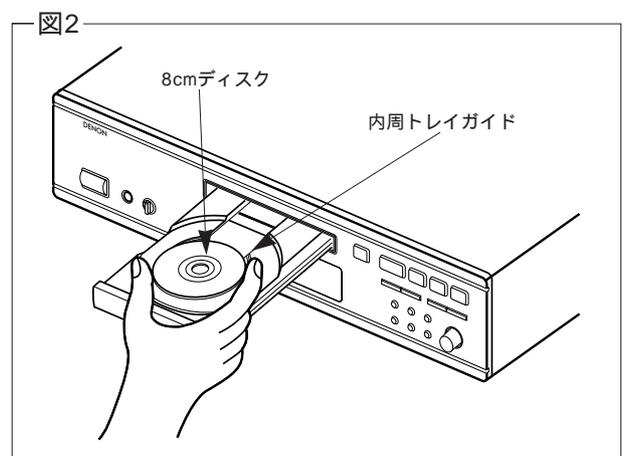
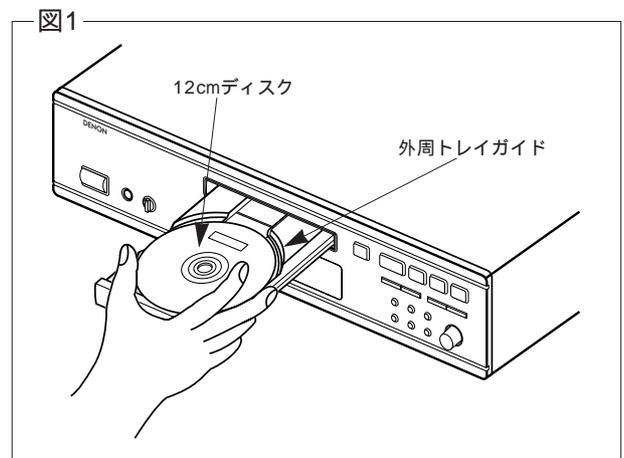
① 電源を入れてください。
② ディスクホルダー開閉ボタンを押してください。

ご注意

- ディスクホルダーの開閉をするときは、必ず電源を入れてください。
- ボタンを鉛筆などでたたいたりしないでください。

(2) ディスクの入れかた

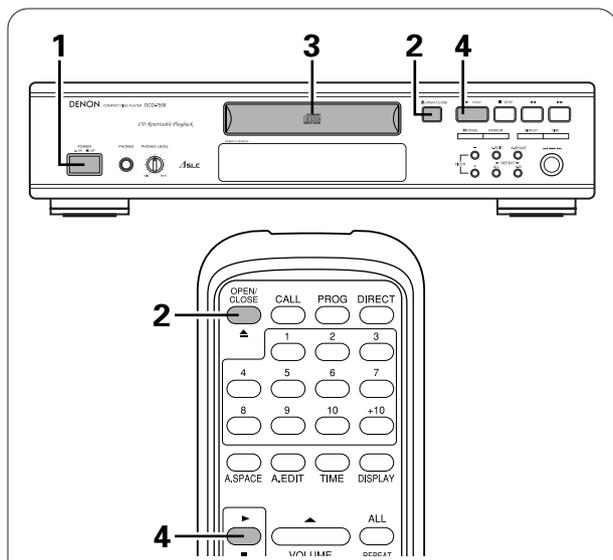
- ディスク情報面に手が触れないように持ち、レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクホルダーが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平にのせてください。
- ディスクホルダー開閉ボタンを押せば、ディスクは自動的に装着されます。
- ディスクが装着されると、表示部にディスクの総曲数および総時間が表示され、ミュージックカレンダーが総曲数まで点灯します。
- ディスクホルダーは、プレイボタンまたはポーズボタン、ディスクホルダーを押しても装着できます。
- プレイボタンで装着したときは1曲目より演奏します。

図1

図2

ご注意

- 万一、指などを挟んだ場合は、あわてずにディスクホルダー開閉ボタンを押してください。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源が切られた状態で、ディスクホルダーを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

11 通常の演奏のしかた

(1) 演奏の始めかた

1	**電源を入れます。**
2	**ディスクホルダー開閉ボタンを押します。**
3	**ディスクを入れます。** ※ディスクの入れかたは、『ディスクの入れかた』（15ページ）を参照してください。
4	**プレイボタンを押します。** ● ディスクの1曲目から最終曲まで、全曲を順番に演奏します。 ※ディスクに収録されている曲（全曲）の演奏が終わると、自動的に停止します。

(2) 演奏の止めかた

1	**ストップボタンを押します。** ● 演奏が停止します。

ご注意

● ディスクが無い場合やディスクを裏返しに装着した場合は、TRACK NO.表示部およびTIME表示部がゼロ表示となり、ミュージックカレンダーが全点灯します。

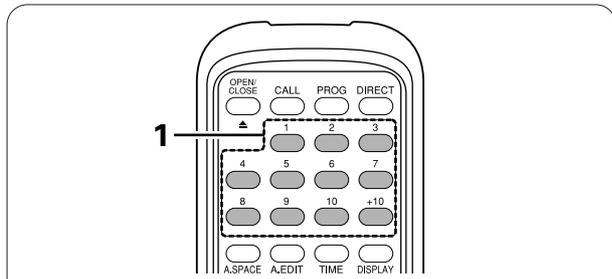
● ディスク最内周の情報をディスクの傷・汚れなどで正しく読み取れなかった場合は、下図のようになります。この場合、全曲・1曲残り時間の表示はできません。また、曲の頭出しなどに時間がかかる場合があります。

正常な場合

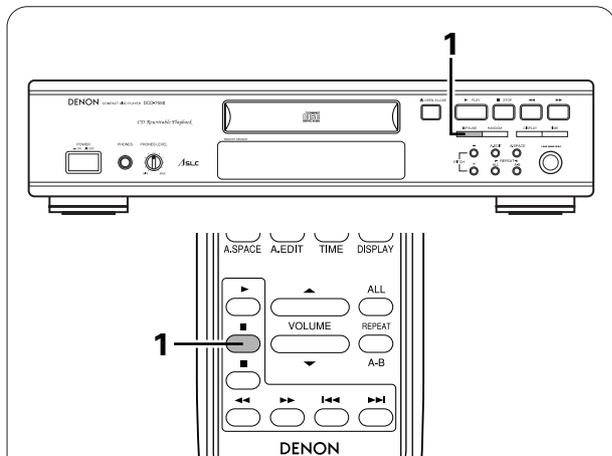
（総曲数：15曲、総時間：54分12秒のディスクの場合）

正しく読み取れなかった場合

12 いろいろな演奏のしかた

(1) 好きな曲を聞くとき『ダイレクト演奏』

1 **聞きたい曲番を、テンキーボタンおよび+10ボタンで入力します。**

- 例えば、4曲目を聞きたいときは 4 、12曲目を聞きたいときは +10 、 2 と押してください。その曲から演奏が始まります。

(2) 途中で演奏を一時的に止めておくとき『ポーズ』

1 **ポーズボタンを押します。**

- 演奏を一時停止します。

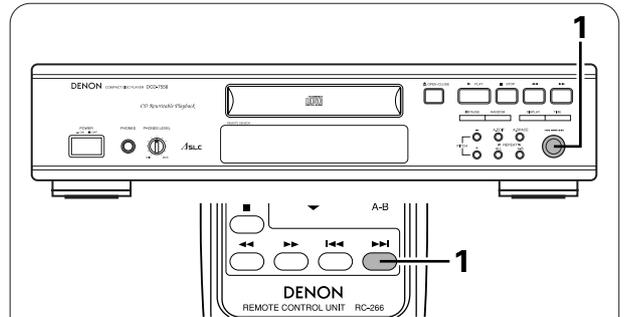
ポーズボタンを押す。

	4曲目	5曲目	6曲目

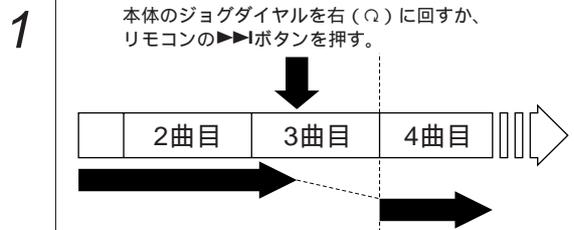
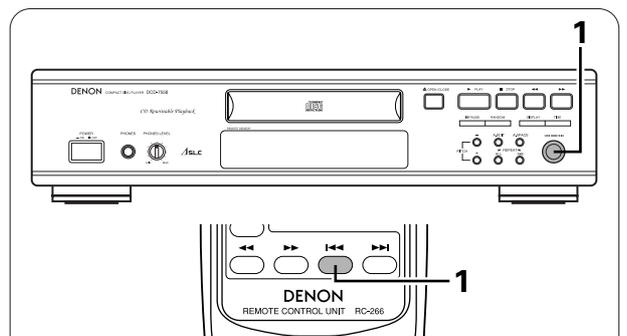
（一時停止）

※一時停止した位置から再び演奏を開始するときは、プレイボタンまたはポーズボタンを押してください。

(3) 演奏途中で曲の頭出しをするとき『オートマチックサーチ』

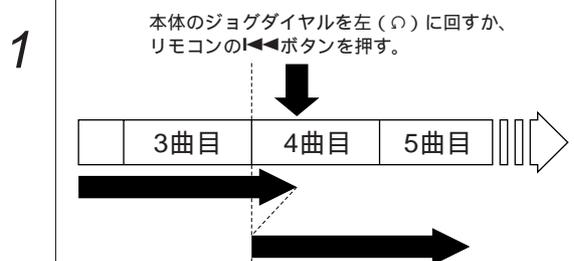
1 次の曲の頭出し

1 **本体のジョグダイヤルを右（↻）に回すか、リモコンの▶▶Iボタンを押します。**

- 選曲動作（サーチ）中にさらに本体のジョグダイヤルを右（↻）に回すか、リモコンの▶▶Iボタンを押すと、次々と後の曲の頭に移ることができます。

本体のジョグダイヤルを右（↻）に回すか、
リモコンの▶▶Iボタンを押す。

2 聞いている曲の頭出し

1 **本体のジョグダイヤルを左（↺）に回すか、リモコンのI◀◀ボタンを押します。**

- 選曲動作（サーチ）中にさらに本体のジョグダイヤルを左（↺）に回すか、リモコンのI◀◀ボタンを押すと、次々と前の曲の頭に移ることができます。

本体のジョグダイヤルを左（↺）に回すか、
リモコンのI◀◀ボタンを押す。

	3曲目	4曲目	5曲目

いろいろな演奏のしかた（つづき）

(4) 早聞きしながら好きな曲を探すとき　『マニュアルサーチ』

1 早送りをするとき

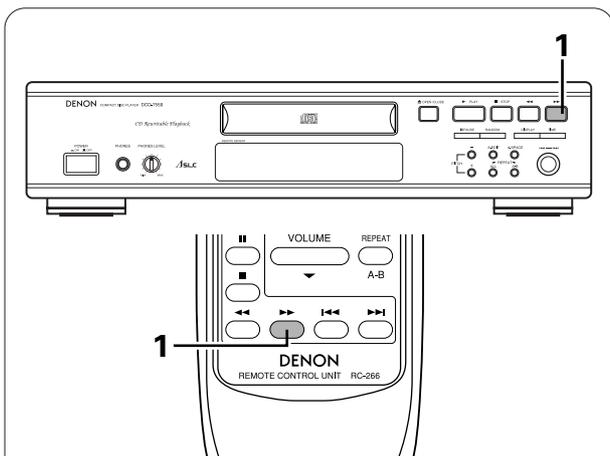
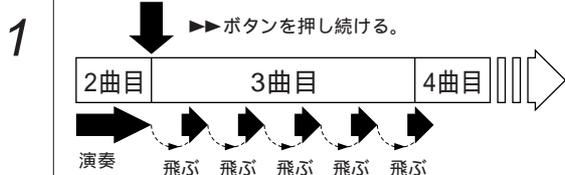
1

演奏中に▶▶ボタンを押し続けます。

- ボタンから指を離せば、そこから通常の演奏をおこないます。

▶▶ボタンを押し続ける。

2曲目　3曲目　4曲目

演奏　飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ

※ ▶▶ボタンを押し続けて、収録されている最終曲の演奏が終わると、ディスプレイに“]] ”が表示され、マニュアルサーチは終了します。

※ 再び演奏をおこなうときは、◀◀ボタンを押して、曲番表示に切り替わってから他の操作をしてください。

2 早戻しをするとき

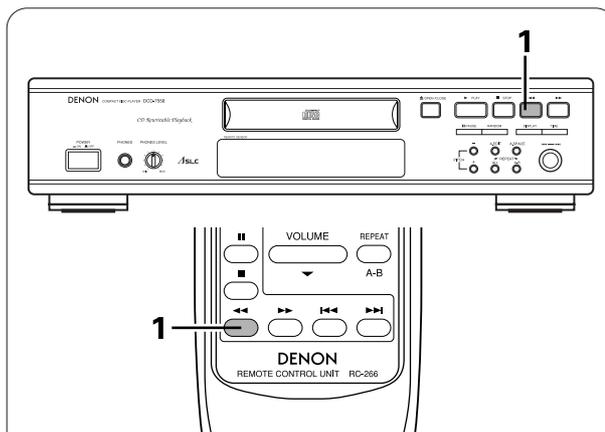
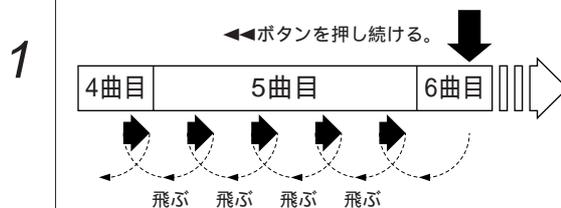
1

演奏中に◀◀ボタンを押し続けます。

- ボタンから指を離せば、そこから通常の演奏をおこないます。

◀◀ボタンを押し続ける。

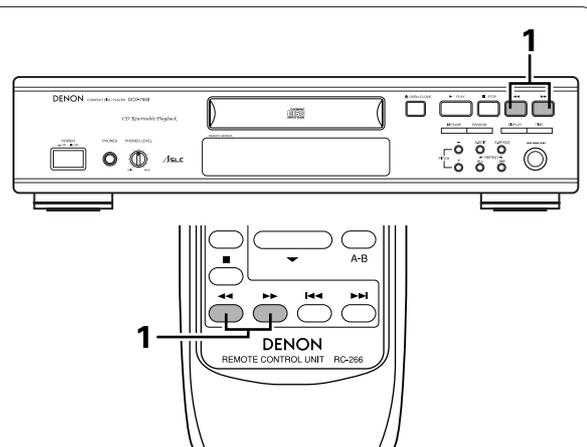
4曲目　5曲目　6曲目

飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ

※ ◀◀ボタンを押し続けて、収録されている最初の曲の頭まで戻ると、ディスプレイに“ [[”が表示され、マニュアルサーチは終了します。

※ 再び演奏をおこなうときは、▶▶ボタンを押して、曲番表示に切り替わってから他の操作をしてください。

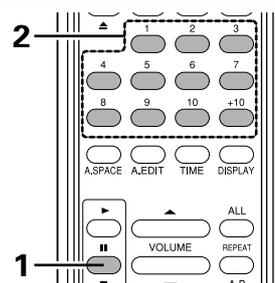
3 音を聞かずに高速早送り・早戻しをするとき

1

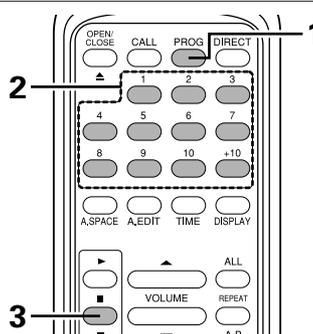
一時停止中に▶▶ボタン、または◀◀ボタンを押し続けます。

(5) 頭出しをして演奏を止めておくとき 『ポーズ』

1 ダイレクト選曲による頭出し

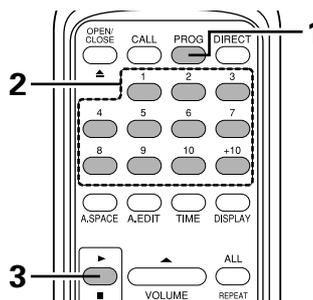
1	**ポーズボタンを押します。**
2	**聞きたい曲番を、テンキーボタンおよび+10ボタンで入力します。**

※演奏を開始するときは、プレイボタンまたはポーズボタンを押してください。

2 プログラム選曲による頭出し

1	**プログラムボタンを押します。**
2	**プログラムしたい曲番を、テンキーボタンおよび+10ボタンで入力します。**
3	**ポーズボタンを押します。**

※演奏を開始するときは、プレイボタンまたはポーズボタンを押してください。

(6) 聞きたい曲を好きな順番に聞くとき（リモコンのみ） 『プログラム演奏』

★ 最大20曲までプログラムすることができます。

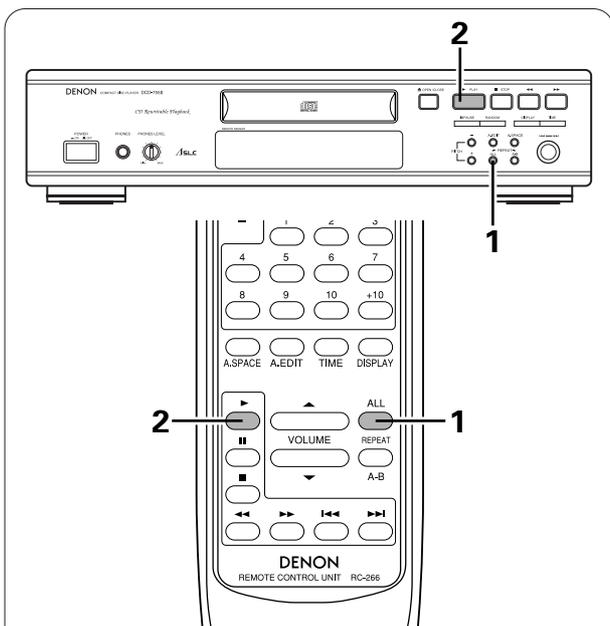
1	**停止中にプログラムボタンを押します。** ● “ PROG ” 表示が点灯します。
2	**プログラムしたい曲番を、テンキーボタンおよび+10ボタンで入力します。** ● 例えば3曲目、12曲目、7曲目とプログラムする場合は、PROG 、3、+10 、2、7 と押してください。
3	**プレイボタンを押します。** ● プログラムされた順に演奏します。

※プログラムした曲を確認するときは、リモコンのコールボタンを押してください。1回押すごとにプログラムされた内容が順次ディスプレイに表示されます。
※プログラム内容をすべて取り消すときは、停止中にダイレクトボタンまたはディスクホルダー開閉ボタンを押してください。
※プログラム演奏を解除するときは、プログラム演奏中にダイレクトボタンを押してください。現在演奏中の曲から最終曲まで連続演奏します。

ご注意

- 演奏中または一時停止中にプログラム操作をすると、1曲目に現在演奏中の曲がプログラムされます。この状態でさらにプログラムの追加ができますが、プログラム曲数や演奏時間は表示されません。
- プログラム演奏中に、ダイレクト選曲はできません。テンキーボタンおよび+10ボタンを押すことにより、その曲がプログラムの最後に追加されます。
- ディスクホルダーを開いた状態でもプログラムすることができます。この場合、ディスクに収録されていないプログラムの曲番は演奏を開始すると、自動的にプログラムより抹消されます。
- 1曲残り時間の表示は、ディスクの1曲目から20曲目までに限られます。
- プログラムしたときの総演奏時間とプログラム残り時間の表示も同様で、21曲目以上の曲番をプログラムしても、表示されません。

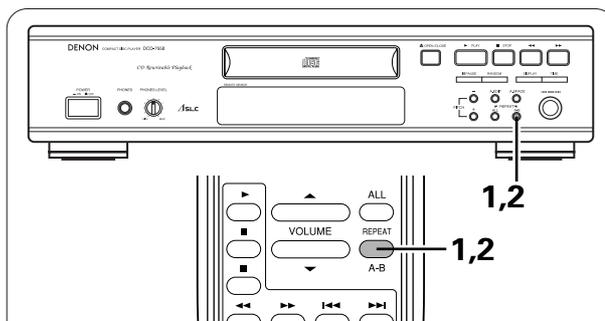
いろいろな演奏のしかた（つづき）

(7) くり返して聞くとき　『リピート演奏』

1 全曲をくり返して聞くとき　『全曲リピート演奏』

1　全曲リピートボタンを押します。
- “ REPEAT ” 表示が点灯します。

2　プレイボタンを押します。

※ 演奏中に全曲リピートボタンを押した場合も、全曲リピート演奏になります。
※ プログラム演奏中に全曲リピートボタンを押した場合は、プログラムされた順にくり返し演奏します。
※ 全曲リピート演奏を解除するときは、もう一度全曲リピートボタンを押してください。

2 任意の2点区間をくり返して聞くとき　『A-B間リピート演奏』

1　演奏中にくり返しを始める位置（A）で、A-B間リピートボタンを押します。
- “ A-B ” 表示が点滅します。

2　くり返しを終わる位置（B）で、もう一度A-B間リピートボタンを押します。
- “ A-B ” 表示が点灯し、位置（A）に戻って演奏をくり返します。

① 演奏中にA-B間リピートボタンを押す。　② A-B間リピートボタンを押す。

位置（A）　位置（B）

2曲目	3曲目	4曲目

この動作を何回もくり返す。

※ A-B間リピート演奏を解除するときは、もう一度A-B間リピートボタンを押してください。

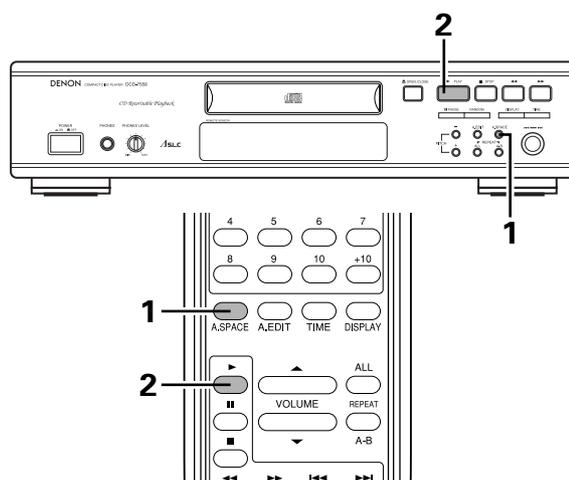
ご注意

- プログラム演奏中は、A-B間リピート演奏はできません。

(8) 曲と曲の間に無音部を挿入するとき　『オートスペース』

1　オートスペースボタンを押します。
- “ A.SPACE ” 表示が点灯します。

2　プレイボタンを押します。
- 演奏を開始します。
- 各曲の演奏が終わると、次の曲との間に約4秒の無音部を挿入します。

※ オートスペースを解除するときは、もう一度オートスペースボタンを押してください。
※ オートマチックサーチボタンを押した場合、オートスペースは動作しません。
※ オートスペースは、通常再生・プログラム再生いずれの場合でも動作します。
※ オートスペースで約4秒間の無音部が挿入されても、残り時間表示には加算されません。

いろいろな演奏のしかた（つづき）

(9) テープのA面・B面に編集録音をするとき　『オートエディット』

★ ディスクの総演奏時間の1/2に最も近い曲の頭でA面・B面に分け、自動的にプログラム演奏します。

1	**停止中にオートエディットボタンを押します。** ● A面の総演奏時間と曲番が約2秒間表示され、次にB面の総演奏時間と曲番が同様に表示されます。その後自動的にA面の1曲目の頭で一時停止状態となり、“ PROG ” 表示が点灯します。
2	**プレイボタンを押します。** ● A面の1曲目から演奏します。 ● A面の演奏が終わると、B面の1曲目の頭で自動的に一時停止します。
3	**プレイボタンまたはポーズボタンを押します。** ● B面の1曲目から演奏します。 ● B面の演奏が終わると、自動的に停止します。

※ オートエディットを解除するときは、ストップボタンまたはディスクホルダー開閉ボタンを押してください。

ご注意

- 21曲以上収録されているディスクでは、オートエディットは動作しません。
- オートエディット中にプレイボタン・ポーズボタン以外のボタンを押すと、オートエディットが解除されたり、正しい動作をしない場合があります。

(10) 順不同に演奏するとき　『ランダム選曲』

1	**ランダムボタンを押します。** ● 通常演奏・・・・・・・・・・ “ ▶PLAY ” 表示が点滅し、ランダム選曲が始まり自動的に演奏を開始します。 ● プログラム演奏・・・・ プログラムされた曲の中でランダム選曲されます。 ● リピート演奏・・・・・・ 一通りのランダム演奏の後、違ったパターンでランダム選曲がおこなわれ、以後毎回違ったパターンでランダム選曲が楽しめます。

※ 選曲動作中、TRACK No.にはディスクに収録されている1曲目から最終曲までの曲番号が高速で繰り返して表示され、選曲が終了して演奏が始まるまで次の演奏曲はわかりません。
※ ランダム演奏中にランダムボタンを押すと、ランダム選曲を解除して、通常の演奏を継続します。また、ストップボタンを押したり、ディスクホルダー開閉ボタンを押してもランダム演奏を解除します。

ご注意

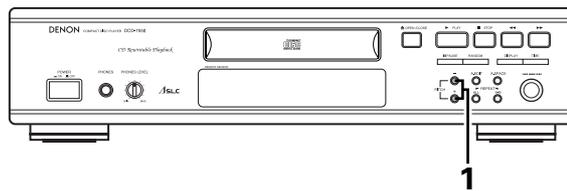
- ランダム選曲中はTOTALモードの残量表示はできません。
- オートエディット動作中はランダム演奏はできません。

（11）演奏の速度を変えるとき　『ピッチコントロール』

★ 演奏の速度を早くしたり、遅くしたりすることができます。（変速演奏）

1

演奏中または一時停止中にピッチプラスボタン（PITCH ＋）またはピッチマイナスボタン（PITCH ー)を押します。

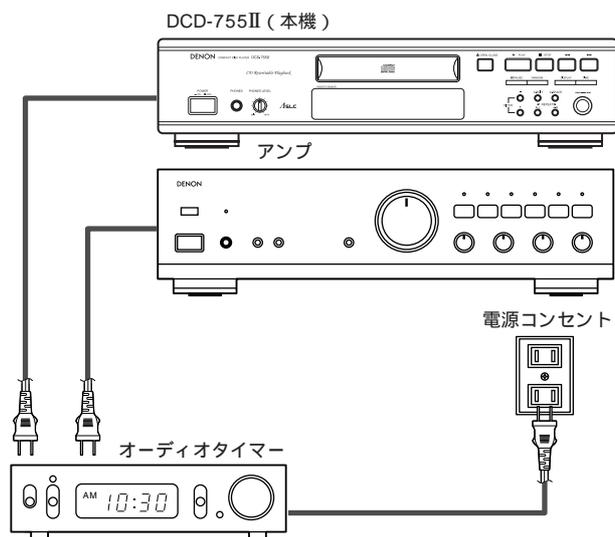
- ボタンを操作すると、約2秒間TIME表示部に可変量を表示します。速度を早くする場合にはピッチコントロール表示 “ ● ” が点滅し、遅くする場合には “ ● ” が点灯します。
- 演奏速度は、ー12.0%から＋12.0%まで0.1%ステップで可変できます。

※ 変速の解除

- 変速演奏中にプレイボタンを押します。通常演奏速度に戻ります。
- ストップボタンを押します。演奏を中止し、変速の設定は解除されます。

ご注意

- 変速演奏中、デジタル出力端子（OPTICAL）からデータは出力されません。データを出力する場合プレイボタンを押して通常速度に戻してください。
- 変速演奏中、時間表示（演奏中の経過時間、その曲の残り時間、残り全曲の残り時間）は正確ではありません。
- 変速演奏中に、プレイボタンを押して通常速度に戻すときに最大約2秒かかります。この間ディスクホルダー開閉ボタンとストップボタン以外のボタンは動作しません。
- 速度を変化させますと、演奏の音程も変化します。

13 タイマー演奏のしかた

（1）接続のしかた

（2）操作のしかた

1	**接続した各機器の電源を入れます。**
2	**本機の電源を入れます。**
3	**アンプの入力切り替えボタンを接続したファンクションに切り替えます。**
4	**本機にディスクを入れます。**
5	**現在時刻を確認し、オーディオタイマーを希望時刻にセットします。**
6	**オーディオタイマーを『ON』にします。** ● オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。 ● 希望時刻になると自動的に各機器の電源が入り、1曲目から演奏します。

ご注意

- リモコンのボリウムボタンにより設定されたレベルは電源を切ると解除され、最大レベル（0）に再設定されます。

14 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■ **各接続は正しいですか**
■ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	関連ページ
ディスクホルダーが開閉しない。	● 電源が入っていない。	● 電源を入れてください。	15
ディスクを入れても全表示が『00』になる。	● ディスクが正常に装着されていない。 ● 録音されていないCD-RディスクまたはCD-RWディスクが装着されている。 ● ファイナライズされていないCD-RディスクまたはCD-RWディスクが装着されている。	● ディスクを入れ直してください。 ● 録音されているCD-RディスクまたはCD-RWディスクと取り替えてください。 ● ファイナライズされているCD-RディスクまたはCD-RWディスクと取り替えてください。	15 ー 14
プレイボタンを押しても演奏しない。	● ディスクが汚れていたり、傷が付いたりしている。	● ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと取り替えてください。	14
音が出ない。 または歪む。	● 出力コードが正しくアンプに接続されていない。 ● アンプの調節・切り替えが不適切である。	● 接続を確認してください。 ● アンプのつまみ類を調節してください。	8
ディスクの指定場所が正常に演奏できない。	● ディスクが汚れていたり、傷が付いたりしている。	● ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと取り替えてください。	14
プログラム演奏ができない。	● プログラム方法が違っている。	● もう一度最初からプログラムしてください。	19
リモコンを操作しても正常に動作しない。	● 乾電池が消耗している。 ● 本機とリモコンが離れ過ぎている。	● 新しい乾電池と入れ替えてください。 ● 本機にリモコンを近づけてください。	12 12
デジタル出力端子からデータが出力されない。	● コードが正しく接続されていない。	● 接続を確認してください。	8
演奏中に演奏が停止し表示が“ Err ”になる。	● ディスクが汚れていたり、傷が付いたりしている。	● ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと取り替えてください。	14

15 主な仕様

■ **オーディオ**
- **チャンネル数**　2チャンネル
- **周波数特性**　2Hz～20kHz
- **ダイナミックレンジ**　100dB
- **SN比**　110dB
- **高調波ひずみ率**　0.0025%（1kHz）
- **セパレーション**　103dB（1kHz）
- **ワウ・フラッター**　測定限界（±0.001% W.peak）以下
- **出力電圧**　0.2～2.0V

■ **使用ディスク**　コンパクトディスク（CD-DA、ファイナライズ済み民生用音楽録音用CD-R/RW）
- **直径**　120mm/80mm

■ **信号フォーマット**
- **標本化周波数**　44.1kHz
- **量子化数**　16bit リニア/チャンネル
- **伝送ビットレート**　4.3218Mb/秒

■ **デジタル出力信号フォーマット**
- **フォーマット**　DIGITAL AUDIO INTERFACE
- **OPTICAL光出力**　−15dBm～−21dBm
- **発光波長**　660nm

■ **ピックアップ**
- **方式**　対物レンズ駆動方式光ピックアップ
- **対物レンズ駆動方式**　2次元平行駆動
- **光源**　半導体レーザー
- **波長**　780nm

■ **総合**
- **電源**　AC100V　50/60Hz
- **消費電力**　10W
- **外形寸法**　434(幅)×100(高さ)×285(奥行き)mm（フット、ツマミ、端子を含む）
- **質量**　3.6kg

■ **リモコンユニット**　RC-266
- **リモコン方式**　赤外線パルス式
- **電源**　DC3V R6P(単3形)乾電池2本使用
- **外形寸法**　52.5(幅)×150(高さ)×24.8(奥行き)mm
- **質量**　95g（乾電池を含む）

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
※ 本機は国内仕様です。
必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。